

施設名	第二学童保育所以下6か所		
指定管理者名	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会		
指定管理期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないものの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・月次報告書	S	年度当初の臨時開所や、それ以降の新型コロナウイルス対策としての通常の運営外となる様々な対応について、各クラス正規指導員を二名配置されていることにより、平常通りの人員配置をもって行うことができた。	S
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	B
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・現地調査・危機管理マニュアル	S	新型コロナウイルスの影響下においても、平常通りの人員配置をもって行うことができた。また市、学校との連携により、密を避けるためのスペース提供を受けるなど、利用者にとってより安全な場を提供することができた。	A
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告書・月次報告書	A	適正な報告および連絡に努めた。	A
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な作成および保管に努めた。	A
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	A	青梅市社会福祉協議会の緊急時体制に基づき体制を整備している。	A
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	S	定期的な危機管理マニュアルの読み合わせ、避難訓練の実施を適宜行った。	S
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書	A	適正な管理に努めた。	A	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書	S	新型コロナウイルス対策として、通常の運営外の対応が求められた中、即時対応、人員配置など児童・保護者ともに安心感をより提供できた。	A
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用児童の保育の状況は適切であるか など	事業報告書・月次報告書	A	事業計画に沿った利用状況であった。	A
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	利用者満足度報告	A	適切に実施した。	A
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	利用者満足度報告	A	満足度は得られている。	A
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	現地調査・ヒアリング	A	適切に実施した。	A
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書・ヒアリング	S	安全性の維持・強化により、児童・保護者ともに安心感をより提供できた。新型コロナウイルス対策として、市、小学校など関係機関との連携をより密接にし、状況に応じて適切に対応を行うことができた。	A
その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書・ヒアリング	A	適切に実施した。	A	

会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	令和2年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	令和2年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	令和2年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	S
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上になっており、事業継続の安全性に不安がない。	令和2年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営されている。	A

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	5	<p>・昨年度からの継続で新型コロナウイルス感染防止対策に終始した1年であった。様々な対応を講じたが、体制としてはほぼ通常通りを維持しながら実施できたことは、当協議会が長年の学童保育の運営により培ってきた、安心安全に根差した体制作りが功を奏したと考えている。</p> <p>・人員配置については、情勢の変化の中においても正規指導員を中心に適正な配置を行い続けた。</p> <p>・集まることが難しい状況下でもウェブ会議形式で研修会を実施し、保育の質の向上に努めた。</p> <p>・行事の実施については大きな制約のあるなか、内容の縮小やおやつの工夫など、できる形での実施に取り組み、ほかにも季節感を取り入れた制作など、子ども達が楽しめるよう学童保育所運営に取り組んだ。</p> <p>・毎年実施しているアンケート結果をふまえ、改善に向けて対応に努めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼関係づくりに努めた。</p> <p>・小破修繕については、迅速に適宜対応した。</p> <p>・清掃、新型コロナウイルス感染症対策としての消毒作業については毎日実施し、更に衛生管理に努めた。</p> <p>・地震、火災、不審者の侵入、災害など、各クラスにおいて状況を想定した避難訓練を実施した。</p> <p>・密を避けるためのスペース提供や情報交換など、特に学校との連絡をより緊密にとり学童保育所の運営を行うことができた。</p>
A	16	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	3	<p>・指定管理者として長年学童保育事業の運営を担ってきた経験や知識を活かして、安全・安心な学童保育事業を展開している。</p> <p>・人員配置については、適切な配置を行い学校の休業期間に伴う午前中からの臨時開所においても柔軟な人員体制を構築し、適切に対応した。</p> <p>・各種季節に応じた行事の実施や制作作業など、児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。</p> <p>・学校等と定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。</p> <p>・学校へ密を避けるためのスペースの提供の調整をするとともに、情報共有や連携強化を図った。</p>
A	17	
B	1	
C	0	